

科目名	国際コミュニケーション論	科目分類	■専門科目群 □総合科目群	
			経済学科	□必修 ■選択
英文表記	International Communication	開講年次	□1年 ■2年 □3年 □4年	
			開講期間	□前期 ■後期 □通年 □集中
ふりがな	さかもと こういち	実務家教員 担当科目		修得単位
担当者名	坂元 浩一	実施方法	■対面のみ □遠隔のみ □対面・遠隔併用	
授業のテーマ	外国語で経済や経営を学ぶ。			
到達目標	<p>この授業の単位を修得した場合、次のような知識・能力を修得できます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 国際的な経済や経営の実際を十分に理解できるようになります。 2. 英語やその他の欧州言語の基本を使えるようになります。 3. 国際的な文献をある程度読めるようになります。 			
授業概要	<p>本科目、国際コミュニケーション論は、英語コミュニケーションと、その他外国語コミュニケーションの2つからなる。経済学部の専門科目であり、外国語「を」学ぶのが中心ではなく、外国語「で」経済や経営を学ぶことにする。</p> <p>コミュニケーションは、「読む」、「聞く」、「書く」、「話す」の4つからなるが、本授業では、「読む」が中心である。「話す」については、その基本である「話し言葉」に習熟する、そして話し言葉を「書く」ことができるようにする。</p> <p>また、コミュニケーションのコンテンツである内容として、経済と経営の分野が中心である。地域経済、都市経済、地場企業、多国籍企業（スタバやマック）が主な対象である。経営については、マーケティングを中心とする。加えて、背景としての文化、習慣、社会もたくさん取り上げることとして、具体的な商品（ブランド品など）やサービス（カフェなど）を紹介する。</p> <p>英語以外の外国語としては、欧州の主な言語であるフランス語、スペイン語、イタリア語、ドイツ語などを取り上げる。総じて、</p>			
授業計画				
第1回	コミュニケーションの心得 外国語の種類			
第2回	外国語コミュニケーションの心得			
第3回	経済・経営の現代の課題 外国語の基本文法			
第4回	ロンドンとウィーンの経済・経営（都市全体） 英語・ドイツ語コミュニケーション（基本文法）			
第5回	ロンドンとウィーンの経済・経営（カフェ文化） 英語・ドイツ語コミュニケーション（基本文法）			
第6回	スペインとイタリアの経済・経営（地域別） 英語・スペイン語・イタリア語コミュニケーション（基本文）			
第7回	スペインとイタリアの経済・経営（都市別） 英語・スペイン語・イタリア語コミュニケーション（基本文）			
第8回	スペインとイタリアの経済・経営（企業） 英語・スペイン語・イタリア語コミュニケーション（基本文法）			
第9回	マドリードとローマの経済・経営（都市全体） 英語・スペイン語・イタリア語コミュニケーション（応用文）			
第10回	マドリードとローマの経済・経営（外資） 英語・スペイン語・イタリア語コミュニケーション（基本文法）			
第11回	著名人・企業とコミュニケーション（リーダー） 英語・スペイン語・フランス語コミュニケーション（基本文）			
第12回	著名企業とコミュニケーション（多国籍企業） 英語・スペイン語・フランス語コミュニケーション（基本文）			
第13回	フランスの経済・経営（地域別） 英語・スペイン語・フランス語コミュニケーション（基本文法）			
第14回	パリの経済・経営（都市全体） 英語・スペイン語・フランス語コミュニケーション（基本文法）			
第15回	パリの経済・経営（企業） 英語・スペイン語・フランス語コミュニケーション（基本文法）			
第16回	定期試験			

授業時間外の学習	1. 授業で配るプリントや課題に十分に取り組んでください。(1時間程度) 2. 日頃から日本経済新聞やその他の経済誌に目を通すようにしてください。(0.5時間程度)
履修条件 受講のルール	英語のわかりやすい文献を読みますので、そのつもりで受講してください。また英語以外の外国語にも関心を持ってください。国際経済学Ⅰと国際経済Ⅱを履修すると、より理解が深まります。
テキスト	なし(プリントを配ります)
参考文献・資料	坂元浩一『教養系の国際経済論―総理解から次の一歩まで―』(電子書籍)大学教育出版、2012年。 坂元浩一『世界金融危機―歴史とフィールドからの検証―』大学教育出版、2010年。 坂元浩一『国際協力量マニュアル―発展途上国への実践的接近法―』頸草書房、1996年。 コミュニケーション・サイトのTEDを利用してください。和訳があります。
成績評価の方法	【小テスト・レポート(50%)、定期試験(50%)】 上記評価項目を基にして総合的に判断します。 ・出席回数が規定に満たない場合及び授業料その他納入金等の全額を納めていない場合は、試験を受けることができません。 ・出席確認時に不在だった場合は、原則としてその回は欠席とします。 ・授業中に無許可で退出した場合は欠席とします。 ・授業の理解および予習・復習が充分であるかを確認するため、授業中にミニ・テストを行うことがあります。
オフィスアワー	前期 火曜日 10:40~11:10 金曜日 10:40~11:10 後期 火曜日 10:40~11:10 金曜日 10:40~11:10
成績評価基準	秀(100~90点)、優(89~80点)、良(79~70点)、可(69~60点)、不可(59点以下)
実務経験及び実務を活かした授業内容	
学生へのメッセージ	この授業を受けることによって、新しい世界が開かれることになるでしょう。未知の国々や地域、異なる言語、興味深い文物を知ることになります。また、新たなコミュニケーションの姿勢や態度をとれるようになります。 教員の海外経験や外国語学習経験を聞くことにより、皆さんが外国を、世界をより身近に捉えられるようになると思います。これまでに、63か国を166回訪問したことがあります。